

---

# 瑠璃垣さん家の五つ子

枝園 榊

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

瑠璃垣さん家の五つ子

### 【Nコード】

N5310V

### 【作者名】

枝園 榊

### 【あらすじ】

小4五つ子の一七・二瑚・三茶・四織・五稀、そして高2の紫園  
・  
一つ屋根の下で6人暮らしをするはめに！

## プロローグ

突然。

それはもう突然。

五つ子の親代わりになった。

2011年3月29日・成田空港

新嶋 紫園・16歳・もうすぐ高校2年生。母方の親戚である瑠

璃垣夫妻がアメリカ転勤になり家族全員で空港まで見送りに来た。

3年ぶりの再会が空港の見送りとは思わなかったが。

瑠璃垣夫妻には全員女の五つ子がいる。一七・二瑚・三茶・四織

五稀の5人。異様に団結力が強い。

みんな揃ってもうすぐ小学4年生だそうだ。俺の記憶ではまだ幼

稚園生だけだ。

「ときに紫園君」

「何ですか？佐奈子おばさん」

「頼みたいことがあるんだけど」

「頼みたいこと？」

「子供たちのお世話をしてほしいの」

「それは・・・俺もアメリカに行かなければならないってことでし

ようか？」

「そんなわけないでしょ。子供たちは日本に残して行くの」

体が硬直した。或は時が止まった。

再び体が（時が）動き出したときにはもう遅かった。

「それじゃ、よろしくね」

断る間もなく夫妻は飛び立った。

そして気づいたときには3月30日。波乱の6人暮らしの幕開け。

2011年3月30日 午前

今日から五つ子たちと暮らす事になってしまった。

昨日の今日でまさか暮らし始めるとは思わなかった。

どうやら母さんたちはこのことを計画していたらしい。

転居届もすでに出されていた。本人になんの断りもなく。

瑠璃垣家は新嶋家から徒歩で30分ほどのところにあつて、幸い、高校は転校せずに済んだ。

小高い丘の上の閑静な住宅街。いかにも金持ちが住んでいそうな  
でっかい一軒家が建ち並ぶ。

新嶋家はマンションの4階、3LDK。そんなところで16年間  
の人生を過ごしてきた。だからだろう。親戚にこんな金持ちがいる  
とは思わなかった。

3階建て一軒家。10LDK+広大な庭+25mプール。五つ子  
は結構お嬢様だったらしい。

何も知らせてなかった分、開いた口が塞がらなかった。

やっと口が塞がったのでチャイムを鳴らしてみた。誰かが出るま  
での数秒、家を間違えているかもしれないと思った。

「誰？」

と、ものすごく不機嫌そうな声がインターホンの向こうから聞こえ  
てきた。

「新嶋 紫園・・・です」

それだけ言つと切られた。

家を間違えたんだろうと思ひ歩き出そうとした瞬間、ドアからも  
のすごい勢いで誰かが走つてきた。

「シオン来たー！」

俺は事前に五つ子の写真をもらっていた。この子は多分、四女の四織おひ、だと思う。写真と一緒に聞いていた事前情報では【四女・四織おひ 誰でも呼び捨てにする ポニーテール】ということだった。

四織一（？）に腕を引つ張られ家の中まで連行された。

リビングらしき場所に連れて行かれると4人の女の子と1匹の犬と1匹の猫がいた。

【長女・一七かずな 姉妹のリーダー的存在 お団子結び】

【次女・二瑚にこ 天然なので言動はいまいち不明 ショート】

【三女・三茶みつさ 木とか霊とかと話せるらしい 二つ結び】

【五女・五稀いづき 読書好き 三つ編み】

事前情報は一目で誰が誰か分かると言われていたが、本当に分かりやすかった。全員の顔は似てるっちゃ似てるけど、髪型が違うお陰ですぐに分かった。

これからここで暮らすんだ、と思って家の前に立っていたが。

全員の目つきを見た瞬間、俺の未来は波乱だらけだと悟った。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5310v/>

---

瑠璃垣さん家の五つ子

2011年10月9日13時04分発行